

授業科目名 (英訳)	文明生存論 History of Civilization					担当者所属 職名・氏名	総合生存学館 教授・泉 拓良				
配当学年	1 回生	単位数	2	開講年度 開 講 期	H27 前期	曜時限	水/3	授業形態	講義	使用言語	日本語
〔授業の概要・目的〕											
<p>文明は現代に通じる人類にとって最も大事な歴史的イベントである。都市、国家、文字等、現代社会の基盤が形成されるのであるが、旧大陸においても、新大陸においても、様々な環境や技術が、複雑な社会組織や経済活動を関係し、各地に多様な文明を形成した。しかしその多くの文明は崩壊し、現代文明にはたどり着かなかつた。歴史における文明の多様性を認識し、行き詰まりつつある現代文明を考え、受講者間での多角的な討論を行いつつ、理解を深める。</p>											
〔到達目標〕											
<p>文化・社会の変化について時間的な理解を深め、今日ある社会的・文化的な課題についての歴史的な経緯を理解する。古代文明崩壊の要因を理解する。</p>											
〔授業計画と内容〕											
<p>【第 1 回】 導入（古代文明発見の歴史と文明に関する歴史観）</p> <p>【第 2・3 回】 文明成立前史 1（世界における狩猟採集社会と農耕社会の生態学的・技術史的比較）</p> <p>【第 4～6 回】 文明成立前史 2（世界における農耕・牧畜とその社会の多様性）</p> <p>【第 7～9 回】 文明の諸属性（都市、神殿、宮殿、市場、分業、広域交易）の起源</p> <p>【第 10～12 回】 文明の崩壊（エジプト文明とメソポタミア文明）</p> <p>【第 13・14 回】 地中海における文明の交替</p> <p>【第 15 回】 まとめ</p>											
〔履修要件〕											
特になし											
〔成績評価の方法・観点及び達成度〕											
レポート：授業内容に関する知識の程度を計る。今日的問題に関する歴史的視点からの理解を計る。											
〔教科書〕											
印刷資料を配付する。											
〔参考書等〕											
随時、必要に応じて文献を紹介する。											
〔授業外学習（予習・復習）等〕											
授業前に課題を提示するので、予習をして授業の討論に臨むこと。復習して小レポートにまとめる。											
〔その他（オフィスアワー等）〕											
<p>展覧会や発掘調査等の見学に学外へ行くこともある。2回の博物館見学ないし現場見学を予定している。</p> <p>オフィスアワーについては、授業開時に日時を提示する。</p> <p>泉 拓良 izumi.takura.8m@kyoto-u.ac.jp</p>											